

将来のスマート工場化に向け 高機能な基盤システムを構築

お客様は今後のスマート工場化に向けてIoTを活用した設備データ収集に取り組まれる方針でした。そこで、収集したデータの活用として高機能なアンドンを先行で構築し、これを今後の基盤システムにすることとなりました。

お客様のプロフィール

会社名 自動車部品製造工場様	従業員数 約1,200人
業種 金属やゴム樹脂製品の製造	所在地 国内 5 工場

自動車

工場

導入前の課題

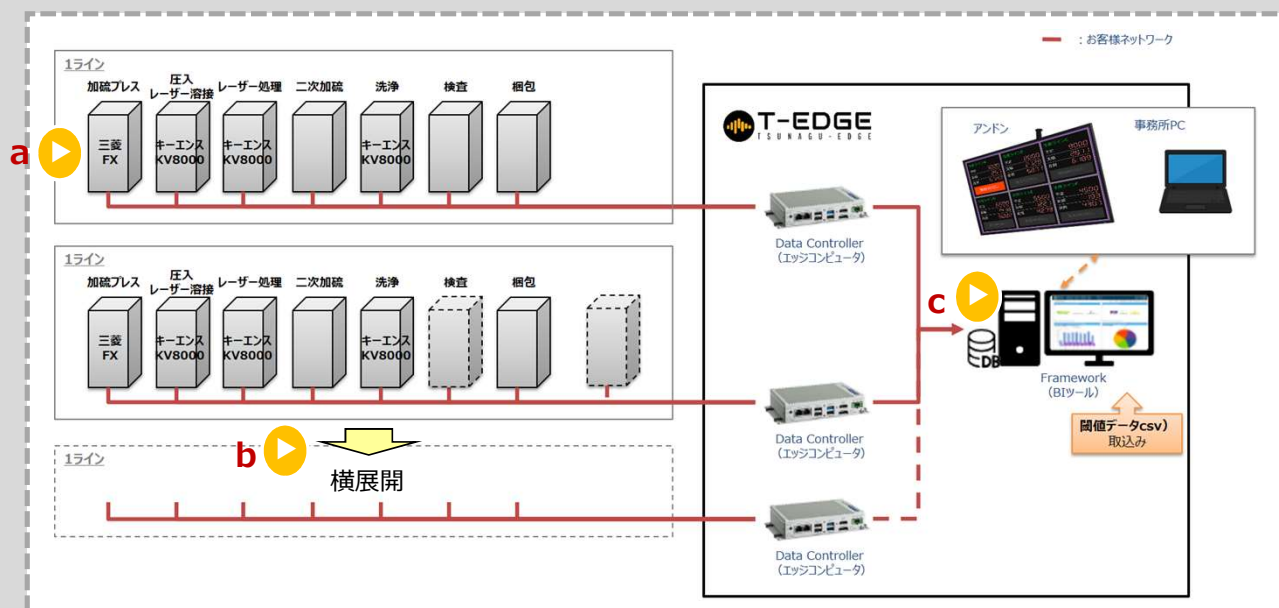
- 古い設備が多く、IoT活用できるか不明
- 新設備はPLCが付くが、データ収集方法が不明
- 他工場展開に必要なシステム機能がわからない

選んだ理由

- 古い設備への対応実績を持つIoT製品
- 現行設備の各種PLCとの連携が可能
- 他工場への展開が容易なシステム機能と構成

導入の効果

- IoT活用による効果の実績作り
- スマート工場化推進のための基本システム確立
- 実際のアンドンとしての活用による業務改善



- 20～30年経過している古い設備にも対応
- 各社のPLC機種を共通プロトコルで接続
- 将来の全工場連携を考慮したシステム思想

ポイント

- a 各社のPLC取り扱いを可能とするFA技術
- b 一度構築すれば展開が簡単な基本システム
- c やりたい事が都度追加できるプラットフォーム

導入費用・納期

- ハードウェア購入費 100万円
- T-EDGEカスタム開発 400万円
- T-EDGE利用料 60万円/年
- 納期：約3カ月